

年月日

25

10

24

ページ

10

NO.

非連続の変革 未来創る

大日本印刷^⑬

桃
華
園
する企業

—2018年の社長就任以来、「第3の創業」を本格的に推進していく。

「従来、印刷業は裏で支える墨子の意識が強かつた。だが世の中の変化は激しく、受注仕事だけではニーズのある製品を作り切れない。だからこそ、当社自身が生活者に提供できる価値を考え『第3の創業』を推進している。当社の製品がどう生活者を豊かにできるのかという観点でBツー

北島 義斎氏

社長



変化捉え生活者を豊かに

「社長就任当初から続けるうちにいろいろな話をしてくれるようになつた。私も直接、社員が挑戦する姿を見られてうれしい」

「印刷技術を基に多角

成も含めて今後も事業と

掲げています。

「時流やニーズの変化を捉え、どこで何をどういを提供する実験型書店『外濠書店』の運営などBツーC(対消費者)事業も展開し、生活者と直接関わる機会も増えた」

—「非連続の変革」を掲げています。

「紙の印刷をやめる気は全くない。『文明の業を営む』という創業時の会則、日本の知や文化を守ることに役立ちたい。

「今後も印刷技術を磨き、主軸として事業を展開する。社内外の多彩な技術を掛け合わせて共創する」と、もっと多くの新しい価値を生み出せ

に成長すること)。挑戦の化しています。

化しています。

を考え続ける」

を考え続ける」

—26年に創業150周年を迎えます。次の15年をつなぐために大事なことは、『現在高いシェアを獲得している製品も、開発には10~15年が必要だつた。難しくても諦めずに挑戦し、生み出してきた歴史だ。今も当社には次代を見据えた研究を開拓することに役立ちたい。

「厳しい時勢ですが、祖業の出版印刷事業のありたい姿は、

「紙の印刷をやめる気

成も含めて今後も事業と

していかに継続できるか